

2021.2.1

「節分と立春」

おはようございます。さて明日は何の日でしょうか？実は「節分です」。「えっ？2月3日が節分ちがうの！」と思うかもしれません、今年の節分は37年ぶりに日付が変わります。さらにいうと2月2日が節分になるのは124年ぶりです。今年は激動の年を予感しますね。「節分」は季節を分けると書きます。つまり明日は季節の分かれ目なのです。では、季節は春夏秋冬とあります。では明日から季節は何になるのでしょうか？2月3日は「立春」です。実は明日から季節はもう春なのです。春の始まりである「立春」があるということは、夏の始まりも冬の始まりもあります。それぞれ「立夏」「立秋」「立冬」といいます。そして前の日はすべて「節分」になります。だから昔は「節分」が1年間に4回もあつたのです。ではなぜ2月だけ「節分」として残り、なぜ豆をまくのでしょうか？季節のことを春夏秋冬といいますね。春は季節の始まりであり、1年の始まりでもあります。だから2月3日の「立春」は、昔は1年の始まりでもあります。でいうとお正月みたいな日だったのです。そして2月の節分は1年の最後の日、大みそかのような日だったのです。昔

の人は、病気はすべて鬼の仕業と考えていました。そして豆には鬼を退治する効果があるといわれていました。つまり、1年の最後の日に悪いことをする鬼を退治して新しい1年を迎える、1年間病気をしたり、悪いことが起きたりしないように…という願いを込めて、節分の日に豆をまいたのです。ちなみに豆まきをしたあとは、数え年といって、この1月～12月までに皆さんがなる年の数と同じだけ豆を食べます。今でいうとお正月の前に大掃除をしたり、年越しそばを食べたりするようなものだったのですね。今日は家で豆まきをして、みんなで悪い鬼＝コロナウィルスを退治しましょう。